

## 第1分科会【健康教育】 2階《孔雀の間》にて

協議題	児童生徒が自らの健康に関心をもち、主体的に健康の保持増進に 取り組む能力を育成する健康教育の在り方		
主旨	児童生徒が主体的に自らの健康の保持増進に取り組む健康教育について協議する。		
協議の視点	○健康課題を解決するために主体的・実践的に取り組む力を育てる 健康教育について ○学校・家庭・地域及び関係諸機関との連携による効果的な健康教育について		
指導助言者	北田 雅子（札幌学院大学 人文学部 子ども発達学科 教授）		
運営責任者	佐々木 豊文（札幌市学校保健会 事務局次長）		
司会者	札幌市小学校長会 千葉 剛禎（札幌市立篠路小学校 校長）		
口頭提言題 及び提言者	NO.1	児童保健委員会の活動と教職員で連携して進める 健康教育の実践～学校から家庭、コミュニティへの発信～	浜松市立中ノ町小学校 養護教諭 大石 育与
	NO.2	学校健診を活用した受診勧奨 ～静岡市の取組について～	静岡市静岡医師会 学校医園医委員会 大久保由美子
	NO.3	からだの元気は口から 健康は健口から ～生きる力を育む歯・口の健康づくり～	大阪市立横堤小学校 養護教諭 米田 美絵子
	NO.4	中学生のネット依存に関する効果的な予防教育を探る ～ネット依存レベルとセルフコントロール力の関連性から～	千葉市立高洲中学校 養護教諭 板垣 友香
	NO.5	成長・命の大切さを伝える保健教育 ～震災後の心とからだのケアの取組～	仙台市立桂小学校 養護教諭 草木 早紀

## 第2分科会【保健管理】 4階《平安（雅）の間》にて

協議題	児童生徒の健康の保持増進を目的として学校・家庭・関係諸機関が 連携を図った保健管理の在り方		
主旨	児童生徒の健康の保持増進を図るため組織的に連携する保健管理について協議する。		
協議の視点	○児童生徒の健康課題解決に向けた組織的な対応について ○効果的な健康診断や望ましい食生活の実践に向けた取組について		
指導助言者	佐藤 洋子（北海道文教大学 医療保健科学部 看護学科 教授）		
運営責任者	大宮 健一（札幌市学校保健会 事務局次長）		
司会者	市立高等学校・特別支援学校長会 山田 浩富（市立北翔支援学校 校長）		
口頭提言題 及び提言者	NO.1	成長曲線を用いた学校健診では、学校現場・ 教育委員会と医療機関の連携が不可欠である	新潟市民病院小児科 医師 阿部 裕樹
	NO.2	「いのちの授業」を通して見えてきたもの ～児童と家庭・地域をつなぐ役割と保健管理～	堺市立三宝小学校 保健主事 大阿見 和来
	NO.3	保健室での実態把握を基にした 「つながる」保健管理 ～目の健康を守る活動を例に～	名古屋市立老松小学校 養護教諭 照井 幸代
	NO.4	やさしく 強く しなやかな いずみっこを育む 包括的性教育	神戸市立泉台小学校 教諭 池内 聡史 教諭 坂井 貴哉 養護教諭 北野 智美
	NO.5	自己の未来を切り拓く勝馬っ子の育成 ～よく動き、よく遊び、元気いっぱいプロジェクト～	福岡市立勝馬小学校 養護教諭 田中 実乃里

### 第3分科会【心の健康】 4階《平安（錦）の間》にて

協議題	児童生徒の豊かな心を育てるための教育活動と支援の在り方		
主旨	児童生徒の豊かな心を育てるための教育活動と健康課題に対する支援の在り方について協議する。		
協議の視点	○児童生徒の心の健康の保持増進に向けた教育活動と組織体制について ○豊かな心を育てるために関係諸機関との連携した取組について		
指導助言者	庄井 良信（藤女子大学 人間生活学部 子ども教育学科 教授）		
運営責任者	渡辺 一生（札幌市学校保健会 事務局次長）		
司会者	札幌市小学校長会 野村 淳一（札幌市立澄川南小学校 校長）		
口頭提言題 及び提言者	NO.1	心の健康のために子どもも大人も 学び続ける学校のあり方 ～生命（いのち）の安全教育を通して～	さいたま市立大久保東 小学校 養護教諭 森永 紅瑠実
	NO.2	保護者の視点から本当に必要な きょうだい（Siblings）支援 ～川崎市医師会学校医部会と神奈川県下の家族会共同調査～	川崎市医師会 学校医部会 佐々木 明德
	NO.3	心の健康・児童生徒の豊かな心を育てる ための教育活動と支援の在り方について	北九州市立大積小学校 北九州市立東郷中学校 学校医 香月きょう子
	NO.4	系統的なカリキュラムに基づいた「心の健康」の指導	広島市立祇園小学校 教諭 関 匠
	NO.5	子どもたちが主人公となる居場所創りと、 対話が繰り返される学校空間創りへの実践	京都市スクールカウンセ ラー・スーパーバイザー 阿部 昇

### 第4分科会【地域保健】 4階《真珠の間》にて

協議題	健やかな児童生徒の育成を目的とした学校・家庭・地域の効果的な連携の在り方		
主旨	学校・家庭・地域の連携協働による学校保健活動の推進について協議する。		
協議の視点	○学校・家庭・地域と関係諸機関の連携による 学校保健活動の推進について		
指導助言者	今野 洋子（北翔大学 教育文化学部 教育学科 教授）		
運営責任者	石井 貴司（札幌市学校保健会 事務局次長）		
司会者	札幌市中学校長 尾崎 英弥（札幌市立日章中学校 校長）		
口頭提言題 及び提言者	NO.1	横浜市内におけるCO <sub>2</sub> モニターの管理と活用	横浜市薬剤師会 和田 野歩
	NO.2	学校保健委員会を中心とした 学校保健活動の実践 ～健康づくりで学校・家庭・地域をつなぐ～	熊本市立秋津小学校 養護教諭 松川 亜未
	NO.3	生きる力を育む委員会活動 ～学校保健委員会・生徒保健委員会を通して～	相模原市立中沢中学校 養護教諭 菊地 麻希 相模原市立若草中学校 養護教諭 土橋 麻貴
	NO.4	自分の健康に関心をもち、 主体的に健康生活を実践できる子どもの育成 ～心と体の体力アップの実践を通して～	岡山市立山南学園 養護教諭 谷川 憂真
	NO.5	子どもたちの「安心」を中学校区で連携して守る	札幌市立二条小学校 教諭 中塚 宗太